

## 令和6年度事業報告書

当センターは、昭和58年開館以来、伝統的工芸品指定6産地をはじめ県内地場産業の振興拠点施設として、効率的な事業運営を行いながら関連業界や地域と連携し、県内の伝統産業の普及拡大に努めてきている。御旅屋セリオ2階に移転してからは、中心市街地の立地と公共交通機関のアクセスが良くなったことを活かした各種PR活動に努めている。

令和6年9月には、能登半島地震の被災地支援として、ZIBAショップにおいて大きな被害を受けた伝統的工芸品指定の輪島塗と高岡漆器の展示販売を開催した。会期中は、輪島より講師をお招きし、塗り箸に沈金を施すものづくり体験も開催し、多くの来場者に両産地の伝統工芸の魅力を知り、支援をいただいた。

令和6年度は、特に県外でのPRを重点に事業を実施しており、販路開拓事業では県内の伝統工芸産地の紹介と新規顧客獲得に向け東京インターナショナル・ギフト・ショーへ出展し、地場産品普及事業では、新たに東京丸の内KITTEで開催された「Traditional crafts of Tokyo WONDER SESSION - 想像を超える、伝統工芸の世界へ。」へ2回出展するなど伝統的工芸品や地場産品の普及に努めた。

ZIBAオンラインショップでは、システムをリニューアルし、決済手続きや商品検索を改善したほか、新たにYAHOO! JAPANショッピングにショップを開店し、通販市場への強化を図った。

また、北陸新幹線金沢・敦賀間が延伸開業により、関西圏域からの観光客の増加が期待されることから、当センターでの物販やものづくり体験だけでなく県内外の観光PRイベントへの参加や旅行エージェントへの出向宣伝を積極的に行い来館者の誘致に努めた。

主な資金収支の内容としては、事業活動収入の事業収入が46,673千円で対前年49,412千円に対し、2,738千円の減収となった。このうち販売業務収入は35,093千円と対前年3,687千円の減少となり、ものづくり体験の参加料収入が5,154千円と1,409千円の増収となったものの、事業活動収入計は、124,945千円で対前年127,116千円に対し、2,170千円の減収となった。

事業活動支出では消耗品費支出や材料費支出が減少し、展示即売仕入支出が売上減に伴い減少となり、管理費支出では給料手当支出や賃借料支出で増、委託費支出などで減少となり、事業活動支出計は125,408千円で対前年127,493千円に対し、2,085千円の減となった。その結果、事業活動収支差額は△462千円となった。

そのほか、投資活動支出として250千円を計上し、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を合わせた当期収支差額は△712千円となり、前期繰越収支差額17,559千円を加えた次期繰越収支差額は16,847千円となった。

## 【公益目的事業】

### 1 地場産業拠点施設運営事業

#### (1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

ZIBA 展示場や体験工房等の施設について、適宜清掃等により明るく利用しやすい施設維持を行った。

#### (2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行う団体が利用するミーティングルームやものづくり体験工房（鋳物、漆器）等の諸室について管理を行った。

### 2 地場産業普及開拓事業

#### (1) 販路開拓事業

##### ① 「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025 第 17 回 LIFE×DESIGN」への出展

伝統工芸品産業支援事業を活用し、各伝統的工芸品産地から出展希望事業者を募り、全国的な見本市である「東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2025 第 17 回 LIFE×DESIGN」へ出展した。出展においては、6 産地団体を通し募集したところ高岡銅器 9 社、高岡漆器 1 社、越中和紙 1 社からの申込みがあり、合計 11 社の出展とした。当センターでは、出展商品が効果的に見える展示方法や商談しやすいような空間づくりなどを設計業社と打ち合わせし、展示空間をプロデュースした。展示会は、総来場者数 224,401 人あり、当センターブースにおいても 307 件分の名刺交換があり、多くの集客を得ることができた。

・期間 令和 7 年 2 月 12 日(水)～14 日(金)

・場所 東京ビックサイト南展示棟 南 3 ホール

##### ② Z I B A オンラインショップの改修

現行のオンラインショップのシステムをリニューアルし、決済手続きの改善、利用者が商品検索しやすいような構成への変更、スマートフォン対応への改修、また、12 月には YAHOO! JAPAN ショッピングにオンラインショップを開店し、より購入しやすい環境を整え通販市場への強化を図った。

#### (2) 地場産業品普及事業

##### ① 全国の地場産業振興センター等と連携するイベントへの出展、企画イベント開催

展示販売場において、「能登半島地震被災地復興支援輪島塗・高岡漆器展」に合わせて全国地場産センターフェアを開催し、高岡と全国の地場産品を紹介した。また、期間中に福岡町特産のさつま芋ポタージュの試飲会を実施し高岡地域の地場産品を PR した。

・期 間：令和 6 年 9 月 14 日（土）～23 日（月）

・出品センター：山形県／（一財）置賜地域地場産業振興センター  
新潟県／（一財）十日町地域地場産業振興センター

鹿児島県／（公財）南薩地域地場産業振興センター  
高岡地域特別販売／J A高岡・山元醸造株式会社

② 観光関連事業への参加協力

ア 「大人の文化祭 2024」

- ・期 間 令和6年6月1日（土）～2日（日）
- ・場 所 長野県長野市 エムウエーブ
- ・出品物 銅器・漆器の工芸品、昆布や銘菓などの食品、地酒

イ 「Traditional crafts of Tokyo WONDER SESSION ー想像を超える、伝統工芸の世界へ。ー」

- ・期 間 令和6年6月15日（土）～19日（水）
- ・場 所 東京 KITTE 丸の内
- ・出品物 銅器・漆器・彫刻・挽物木地・和紙・菅笠の工芸品

ウ 「いいやま灯籠まつり」

- ・期 間 令和6年8月11日（日）
- ・場 所 長野県飯山市
- ・出品物 銅器・漆器の工芸品

エ 「ふるさと全国県人会まつり 2024」

- ・期 間 令和6年9月7日（土）～8日（日）
- ・場 所 愛知県名古屋市栄 久屋大通公園
- ・出品物 銅器・漆器・菅笠の工芸品、昆布や煎餅などの食品

オ 「越前若狭お城フェス」

- ・期 間 令和6年10月13日（日）～14日（月）
- ・場 所 福井県福井市
- ・出品物 銅器・漆器の工芸品

カ 「Traditional crafts of Tokyo WONDER SESSION ー想像を超える、伝統工芸の世界へ。ー」

- ・期 間 令和6年11月1日（金）～5日（火）
- ・場 所 東京 KITTE 丸の内
- ・出品物 銅器・漆器・彫刻・挽物木地・和紙・菅笠の工芸品

キ 「まるごと飛越能 in 金沢フォーラス」

- ・期 間 令和6年11月9日（土）～10日（日）
- ・場 所 石川県金沢市金沢フォーラス
- ・出品物 銅器の工芸品

ク 「まるごと飛越能 inKITTE 丸の内」

- ・期 間 令和7年2月14日（金）～15日（土）
- ・場 所 東京 KITTE 丸の内

- ・出品物 銅器・漆器の工芸品
- ③ 高岡地域地場産業センター展示販売場を利用した県内地場産品情報の提供
- 展示販売場において、季節に合った伝統的工芸品や地場産品の展示紹介を行った。
- ア 端午の節句、御車山祭り、母の日、春商品の展示
- ・期 間 令和6年4月1日～
  - ・主な商品 兜飾り（銅器）、鯉のぼり（和紙）など
- イ 父の日、夏商品の展示
- ・期 間 令和6年5月12日～
  - ・主な商品 錫製ビアカップ（銅器）、風鈴（銅器）など
- ウ 秋商品の展示
- ・期 間 令和6年9月24日～
  - ・主な商品 しおり、人形（和紙）など
- エ 干支商品、お正月の展示
- ・期 間 令和6年11月4日～
  - ・主な商品 干支置物（銅器、和紙）、お正月商品（漆器、挽物木地）など
- オ 桃の節句、春商品の展示
- ・期 間 令和7年2月2日～
  - ・主な商品 雛飾り（漆器、彫刻、和紙、挽物木地）など
- カ 端午の節句、御車山祭り、春商品の展示
- ・期 間 令和7年3月4日～
  - ・主な商品 兜飾り（銅器）、鯉のぼり（和紙）など
- ④ 「高岡御車山会館ギャラリーショップ」の運営
- 山町筋において、伝統的工芸品を中心としたギャラリーショップを運営し、地域内外の方々へ魅力的な情報発信に努めた。
- ⑤ 「伝統工芸ギャラリー・MONONO-FU」の委託販売
- 新高岡駅において、伝統的工芸品を販売するギャラリーへの展示商品の選定を通して、地域内外の方々へ魅力的な発信に努めた。また、観光交流センターのリニューアルに併せ、同所の伝統工芸ギャラリー・MONONO-FUの商品入替えを行い、商品が見やすく良さが伝わるような展示替えを行い効果的な展示販売に努めた。
- ⑥ イオンモール高岡西館「T. O C U L」の運営協力
- （株）ジェック経営コンサルタントが運営するイオンモール高岡西館「T. O C U L」に協力をを行い、県内地場産品の普及に努めた。
- ⑦ 令和6年度能登半島地震支援に伴う展示会の開催
- 伝統工芸高岡漆器協同組合と連携し、能登半島地震で大きな被害を受けた伝統的工芸品の輪島塗の被災地支援として、Z I B Aショップにおいて輪島塗と高岡漆器の展示販売会を開催。ものづくり工房では、輪島から講師をお招きし、体験を実施

した。会期中、輪島塗は71点を販売、体験は2日間で50組が体験した。災害への関心の高い新たな客層など多くの方が来場され復興への一助となった。

- ・会期：令和6年9月14日（土）～10月31日（木）
- ・内容：輪島塗・高岡漆器展（協力：輪島漆器商工業協同組合）  
My 箸づくり体験（協力：輪島工房長屋）  
全国地場産センターフェア

### (3) 来館者誘致事業

北陸新幹線金沢・敦賀間の延伸開業により関西圏域からの観光客の増加が期待されることから、旅行エージェントやメディア等に対して地場産品や当センター施設を広く周知するため、情報提供や出向宣伝を積極的に行い来館者の誘致に努めた。

また、新高岡駅の新高岡駅観光交流センターGALLERY MONONO-FUや高岡御車山会館ギャラリーショップに当センターのポスターやチラシを掲示するなど、3施設間相互の誘客に努めた。

#### ① 滋賀県旅行エージェントへの出向宣伝

- ・日程 令和6年10月28日（月）～29日（火）
- ・場所 長浜市、米原市、彦根市の旅行エージェント会社
- ・訪問先 14社
- ・内容 観光バスや北陸新幹線を利用する団体・グループ等旅行者の観光客誘致に向けた当センターの受入体制や魅力の説明を行った。

### (4) 地場産業情報提供事業

#### ① ホームページ等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページを活用し、財団事業についての概要説明や情報提供の充実を図るとともに、当地域の地場産業や代表商品の魅力、使い方等をより具体的に紹介できるよう情報発信に努めた。

#### ② 高岡地域地場産業センター展示スペース等を利用した情報提供

事務室前通路等に伝統工芸PRパンフレットを設置し情報発信を行ったほか、ZIBAショップ内の展示スペースを活用し、新商品開発の発表などの企画展示を実施した。

- ・令和6年8月30日～9月3日 第53回高岡漆器展示会(伝統工芸高岡漆器協同組合主催)

#### ③ 産業資料館による情報提供

産業資料館内において、県内伝統的工芸品の歴史や製造工程などのパネルと併せ、工程見本や伝統工芸士作品などを展示し、伝統的工芸品の魅力をわかりやすく紹介すると共に周知を図った。

また、伝統工芸高岡銅器振興協同組合と伝統工芸高岡漆器協同組合の創立50周年記念の一環として、それぞれの組合と共同で工芸品製作工程の動画を制作し、伝統工芸の魅力をより分かりやすく発信できるツールの充実を図った。

#### ④御旅屋セリオからの情報発信

イベントや商品の案内だけでなく、ものづくり体験に来られたお客様の体験の様子や、実施したイベントの様子を当財団のHPやSNSで発信し、お客様に身近に感じてもらえるような情報発信に努めた。撮影スタジオST@R-ZIBAは、地場産業企業を中心に各社のECサイトに掲載する商品写真の撮影に活用された。当財団のオンラインショップ商品もST@R-ZIBAで撮影し、サイトの充実、改善に取り組んだ。

### 3 人材育成事業

#### (1) 青少年育成事業

伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高めるため、体験工房、展示販売場、産業資料館を活用し、小・中・特別支援学校の児童・生徒の体験実習を支援した。

また、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援した。

令和6年度は、1,372人(昨年度1,253人)が来館し体験や見学を実施した。

##### ① 「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示販売所、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に支援・協力を行った。令和6年6月3日を初回に、年間19日間にわたって延べ14校が体験実習した。

ア 鋳物の体験（錫の鋳込みを実習）

・小学6年生14校（772名）

イ 漆器の体験（螺鈿貼りを実習）

・利用なし

ウ 産業資料館、ZIBAの見学

・小学5年生12校（586名）

##### ② 教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、漆器体験についての講座を2日間（各3時間）開催した。

漆器体験講座受講者数 7名。

1日目 令和6年7月30日(火) 午前9時～12時

2日目 令和6年8月6日(火) 午後1時半～4時半

#### (2) 工芸技術体験普及事業

高岡市民はもとより広く工芸技術を体験できる機会を提供し、鋳物・漆器・特別体験・出張体験を合わせて1,471人(昨年度1,053人)の利用があった。

・鋳物体験（ミニ水盤、ぐいのみ） 392人(昨年度306人)

・漆器体験（ペンダント、ミニパネルなど） 385人(昨年度317人)

・漆絵蒔絵教室（毎月2回×定員8名） 延べ172人

・特別体験	259人(昨年度 430人)												
(内訳)	<table> <tr> <td>伝統産業連携PR事業(6産地体験)</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>朱塗りスプーンへの絵付け体験</td> <td>109人</td> </tr> </table>	伝統産業連携PR事業(6産地体験)	150人	朱塗りスプーンへの絵付け体験	109人								
伝統産業連携PR事業(6産地体験)	150人												
朱塗りスプーンへの絵付け体験	109人												
・出張体験	263人												
(内訳)	<table> <tr> <td>鋳物体験(会場:KITTE東京)</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>漆器体験(会場:イオンモール高岡)</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>菅コースター体験(会場:イオンモール高岡)</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>木製メダル体験(会場:イオンモール高岡)</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>錫の器制作体験(会場:イオンモール高岡)</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>木製丸皿体験(会場:イオンモール高岡)</td> <td>30人</td> </tr> </table>	鋳物体験(会場:KITTE東京)	28人	漆器体験(会場:イオンモール高岡)	123人	菅コースター体験(会場:イオンモール高岡)	28人	木製メダル体験(会場:イオンモール高岡)	15人	錫の器制作体験(会場:イオンモール高岡)	39人	木製丸皿体験(会場:イオンモール高岡)	30人
鋳物体験(会場:KITTE東京)	28人												
漆器体験(会場:イオンモール高岡)	123人												
菅コースター体験(会場:イオンモール高岡)	28人												
木製メダル体験(会場:イオンモール高岡)	15人												
錫の器制作体験(会場:イオンモール高岡)	39人												
木製丸皿体験(会場:イオンモール高岡)	30人												

#### 4 地場産業支援事業

##### (1) 商品開発支援

商品企画の継続・充実とその展開のため各販売施設における販売実績・POSデータを利用する独自の販売集計システムにより、販売実績を迅速に処理し、産地組合等へ販売情報を提供した。また、ZIBA展示場のPOS管理データを活用し消費者ニーズ分析を行い業界へのマーケティング支援として情報提供した。

##### (2) 産業支援事業

###### ①事務運営による団体支援

###### ア 高岡地域文化財等修理協会

総会、部会長会議の開催や販路開拓事業、文化財修理等における事業に対して事務支援を行った。

###### イ 富山県伝統工芸士会

総会、役員会、正副会長会議の開催や富山県伝統工芸士展等の事業に対して事務支援を行った。

###### ウ 富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催等に対して事務支援を行った。

###### ②団体に対するその他の支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

###### ア 高岡伝統産業青年会

高岡伝統産業の魅力発信と産業活性化を目的とした事業「クラフトフェアツギノテ 産業工芸博覧会」の企画運営を支援した。

- ・期間 令和6年10月19日(土)～10月20日(日)
- ・場所 高岡市営高岡中央駐車場(高岡市下関町6丁目11)
- ・内容 クラフトフェアツギノテ内、技術展示エリア「高岡産業工芸博覧会」の企画・運営

#### イ 伝統工芸高岡漆器協同組合

高岡漆器展示会の開催、全国漆器展への出展等の事業実施に対して支援した。

##### (ア)「高岡漆器展示会」の開催

- ・期間 令和6年8月30日(金)～9月3日(火)
- ・場所 (公財)高岡地域地場産業センター

##### (イ)「第59回全国漆器展」への出展

- ・期間 令和6年9月13日(金)～9月26日(木)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア
- ・主催 日本漆器協同組合連合会、(一社)日本漆工協会、(一財)伝統的工芸品産業振興協会

##### (ウ) 伝統工芸青山スクエア常設展

- ・期間 令和6年4月1日(月)～令和7年3月15日(土)
- ・場所 東京都港区 伝統工芸青山スクエア

##### (エ) 伝統的工芸品月間国民会議全国大会

- ・期間 令和6年11月7日(木)～11月10日(日)
- ・場所 石川県

#### ウ 高岡巧美会

伝統的工芸品である高岡銅器・高岡漆器への理解と普及を図るため、消費地である東京にて開催する「ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！高岡の伝統工芸品展」に対して支援した。

- ・期間 令和6年11月22日(金)～11月28日(木)
- ・場所 伝統工芸青山スクエア(東京都港区)

#### エ 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

地場産業と全国のデザイナー・クリエイターの交流をはかり、新たな産業の育成や異業種との連携を促すことなどにより伝統産業の振興を目的としたクラフトコンペティションに対して支援した。

- ・期間 令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

#### オ 富山県伝統工芸士会

富山県内の伝統的工芸品の伝統工芸士が制作する作品の展示をすることにより、伝統工芸の技術と魅力を伝え、また新たな作品作りへの情報収集の場とすべく開催する第27回富山県伝統工芸士展事業に対し支援した。

- ・期間 令和6年7月5日(金)～18日(木)
- ・場所 日本橋とやま館

#### カ 富山県伝統産業協議会

小・中学生を対象に、伝統的工芸品の製作技術や手作り品への愛着を将来に向けて継承していくため、伝統的工芸品の制作体験をとおり、理解や興味を深めてもら

うことを目的とした事業に対して支援した。

(ア) 銅器に親しむつどい

- ・開催日 令和6年8月24日(土)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房鋳物
- ・内 容 「錫製バンゲル」の製作

(イ) 漆器に親しむつどい

- ・開催日 令和6年7月27日(土)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター ものづくり工房漆器
- ・内 容 小箱づくり(蒔絵の加飾体験)

(ウ) 井波彫刻の体験教室

- ・開催日 令和7年3月8日(土)~9日(日)
- ・場 所 福野文化創造センターヘリオス
- ・内 容 木彫りの獅子木札塗り体験

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・開催日 令和6年11月19日(火)
- ・場 所 砺波市立北部小学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 越中和紙の体験教室

- ・開催日 令和6年7月16日(火)、9月26日(木)、9月27日(金)  
10月25日(金)、11月8日(金)、11月15日(金)  
11月20日(水)、11月22日(金)、11月26日(火)
- ・場 所 五箇山和紙の里、(有)桂樹舎、夢創塾
- ・内 容 施設見学、手すき和紙製作体験(卒業証書用紙・台紙・ハガキ)

(カ) 越中福岡の菅笠の体験教室

- ・開催日 令和6年11月12日(火)
- ・場 所 高岡市立福岡中学校
- ・内 容 福岡の菅笠の学習、豆笠の製作体験

## 5 技術継承支援事業

高岡地域文化財等修理協会の事務局として、現地調査や見積作成、依頼者との連絡調整を行う等、協会の機能強化を図るための事務的支援を行った。

また、山車等の修理における修理工程の記録や、作業工程・計測データの収集を行い、工芸技術の保存継承に資する資料の整備にも努めた。

## 【収益事業】

### 1 一般品目販売事業

観光目的利用者等の便に供するため飲料品や観光土産などの公益目的には合致しない商品について、顧客ニーズに沿うような取り揃えに努めた。

## 【管理事業（法人会計）】

### 1 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

#### (1) 理事会

##### ① 第44回理事会(書面)

- ・開催日 令和6年4月1日(月)
- ・議案 副理事長（代表理事）の選定について

##### ② 第45回理事会

- ・開催日 令和6年5月27日(月)午後1時55分～2時33分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 議案第1号 令和5年度事業報告について  
議案第2号 令和5年度収支決算の承認について  
議案第3号 定時評議委員会の招集について
- ・出欠 理事 出席8名、欠席3名  
監事 出席1名、欠席1名

##### ③ 第46回理事会

- ・開催日 令和7年3月25日(火) 午後1時53分～2時33分
- ・会場 高岡地域地場産業センター ミーティングルーム
- ・議案 令和7年度伝統産業支援事業助成金の審査・選考について  
役員報酬規程の改定について  
基本財団の運用について  
派遣職員の受入れについて  
令和7年度事業計画について  
令和7年度収支予算について  
資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・出欠 理事 出席9名、欠席2名  
監事 出席1名、欠席1名

#### (2) 評議員会

##### ① 第1回評議員会(書面)

- ・開催日 令和6年4月1日(月)
- ・議案 役員の選任について

評議員の選任について

役員報酬規程の改正について

② 第2回評議員会(書面)

- ・開催日 令和6年5月24日(金)
- ・議案 評議員の選任について

③ 定時評議員会

- ・開催日 令和6年6月11日(火) 午前11時00分～11時42分
- ・議案 令和5年度(公財)高岡地域地場産業センター収支決算について
- ・報告事項 令和5年度(公財)高岡地域地場産業センター事業報告について
- ・出欠 出席7名、欠席4名

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換を行った。

① 令和6年度全国地場産業振興センター協議会総会

- ・開催日 令和6年7月4日(木)、5日(金)
- ・会場 「道の駅」都城 NiQLL 多目的室(宮崎県)
- ・内容 議案審議  
令和5年度事業報告及び収支決算  
令和6年度事業計画及び収支予算  
次期総会開催地の決定  
事例発表  
ココニクル都城の地域ブランディングについて